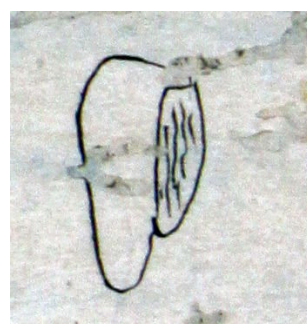


〔挿図⑨〕
 右から「本ノ松山」「中ノ松山」「末ノ松山」「神ノ石村」



〔挿図⑩〕

〔挿図⑩〕

碑の上部「西」

碑文「多賀城 去京一千五百里」

去蝦夷国界百廿里、

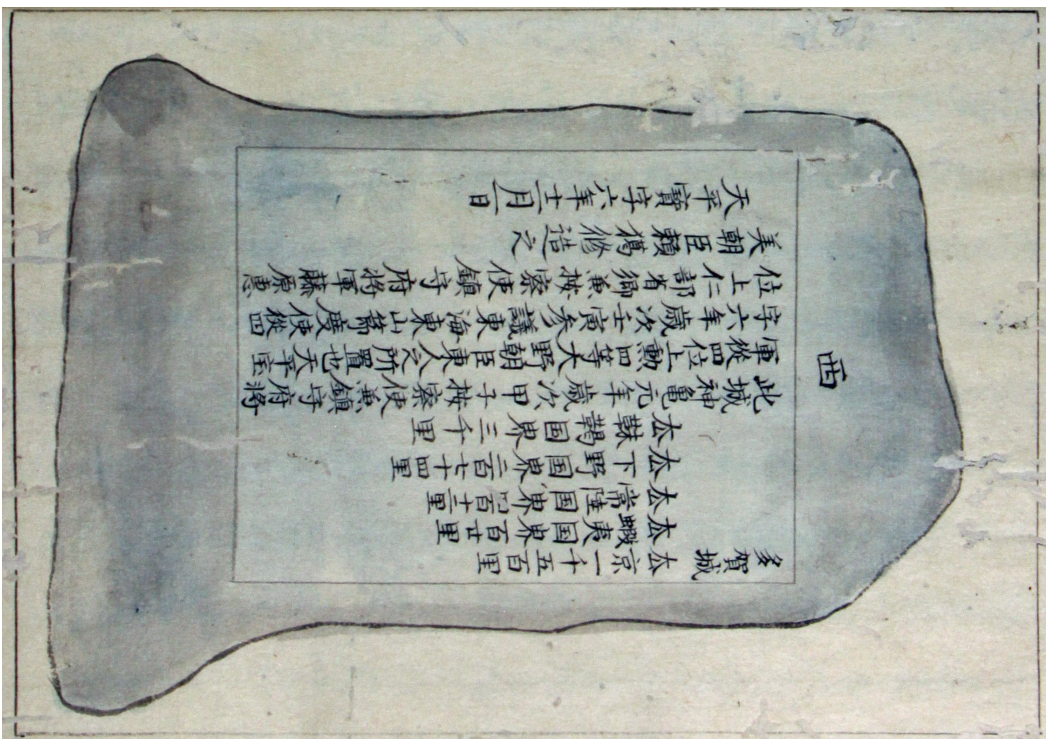
去常陸国界四百十二里、

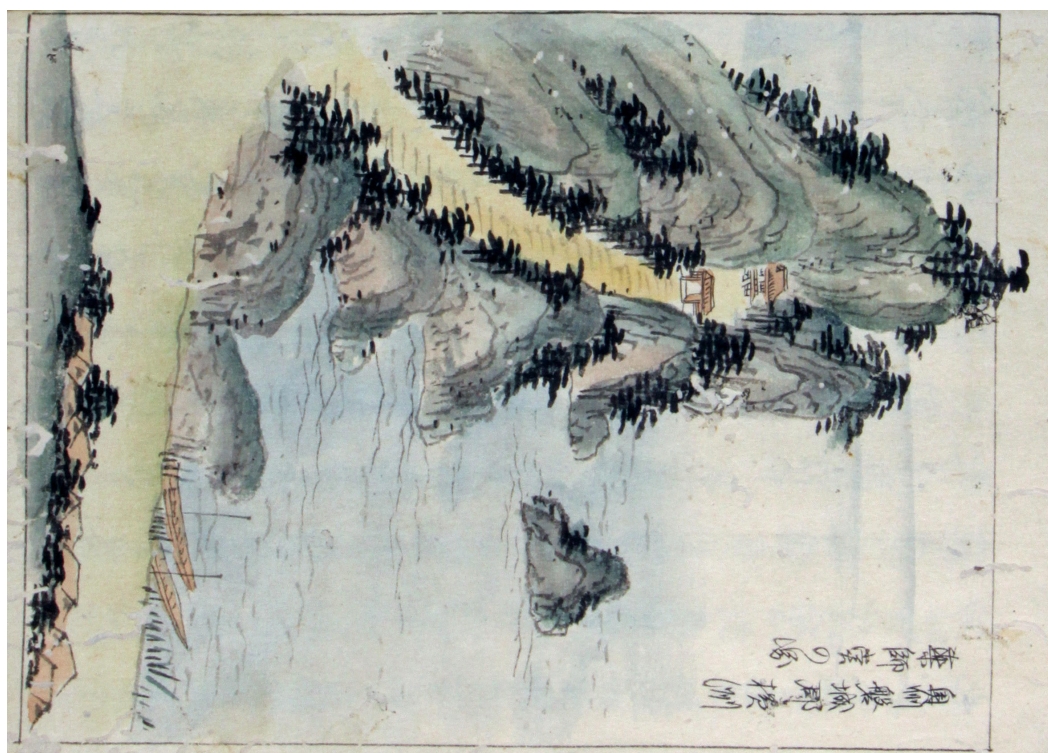
去下野国界二百七十四里、

去靺鞨国界二千里、

此城、神龜元年、歲次甲子、按察使兼鎮守府將軍、從四位上・大野朝臣東人之所置也、天平宝字六年、歲次壬寅、參議・東海・東山・節度使、從四位上・仁部省卿兼按察使・鎮守府將軍、藤原惠美朝臣賴猶修造之

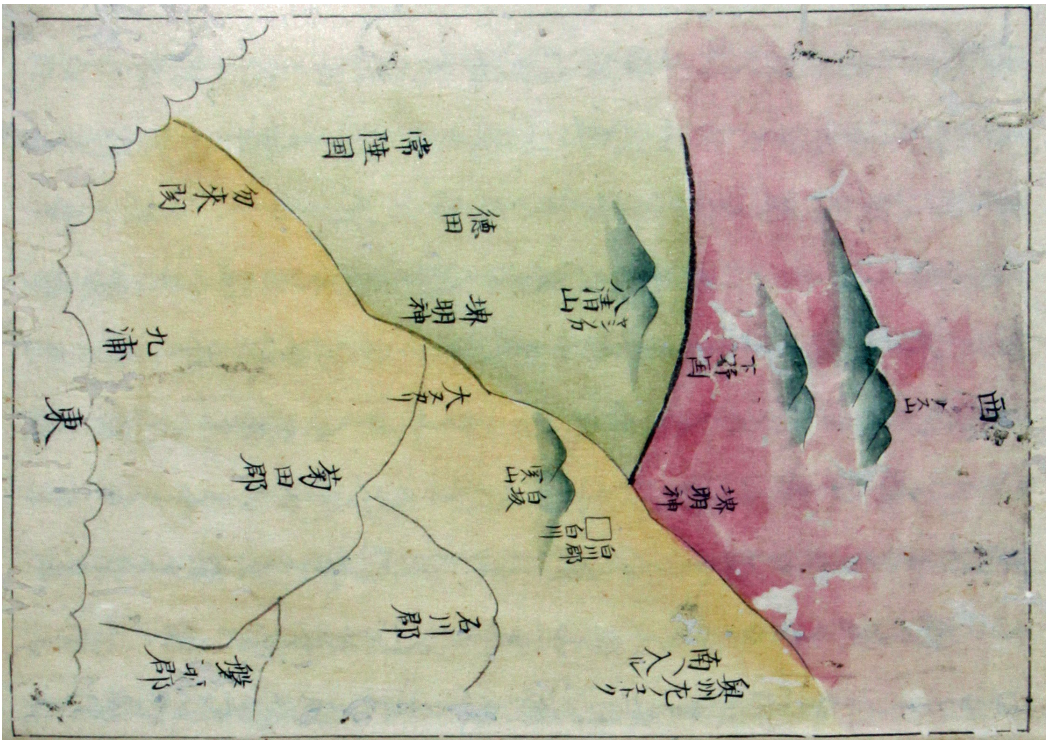
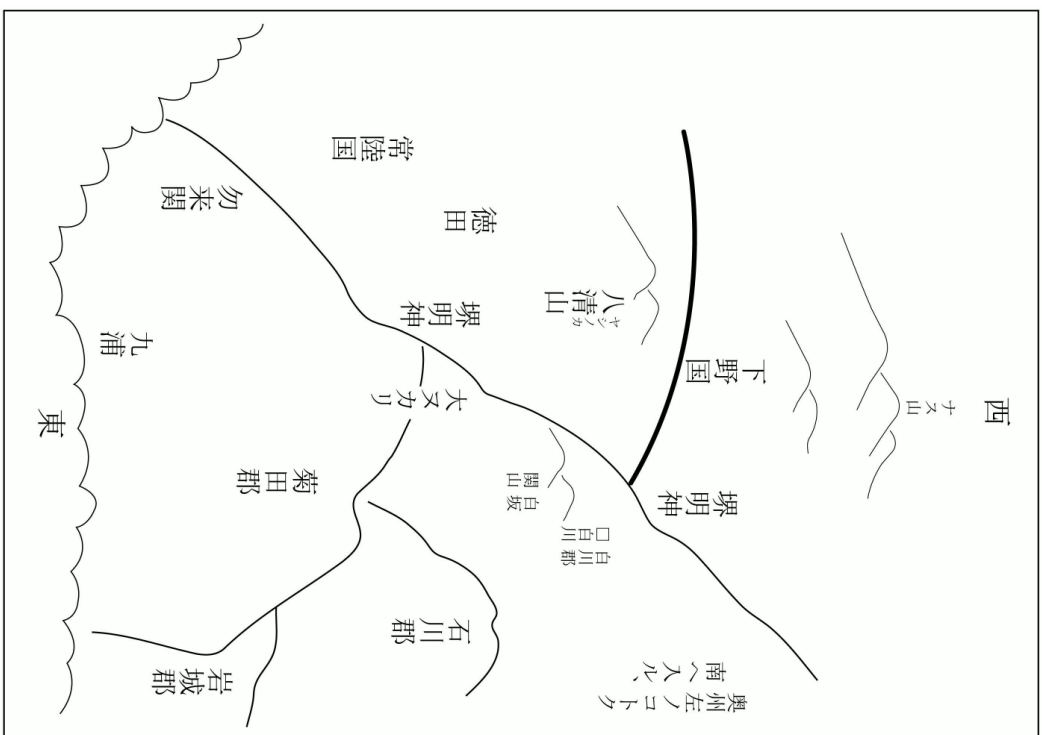
天平宝字六年十二月一日」





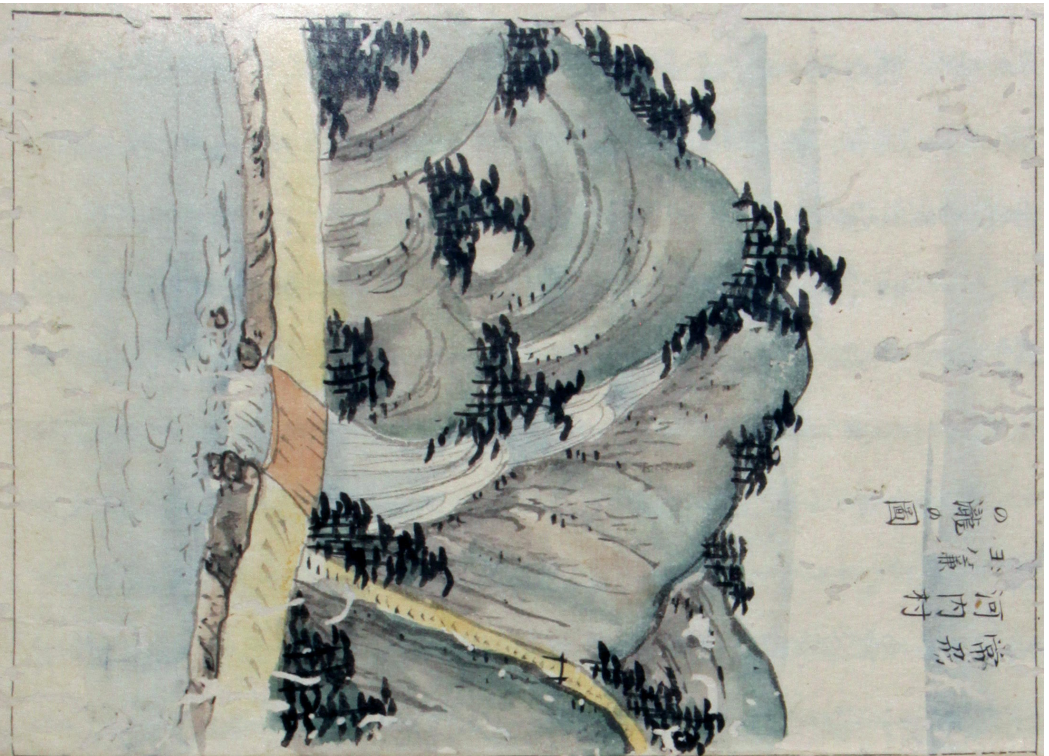
〔挿図⑪〕「奥州磐城郡横洲夷師堂の図」

〔挿図⑫〕



〔挿図⑬〕（翻刻文中に掲載）

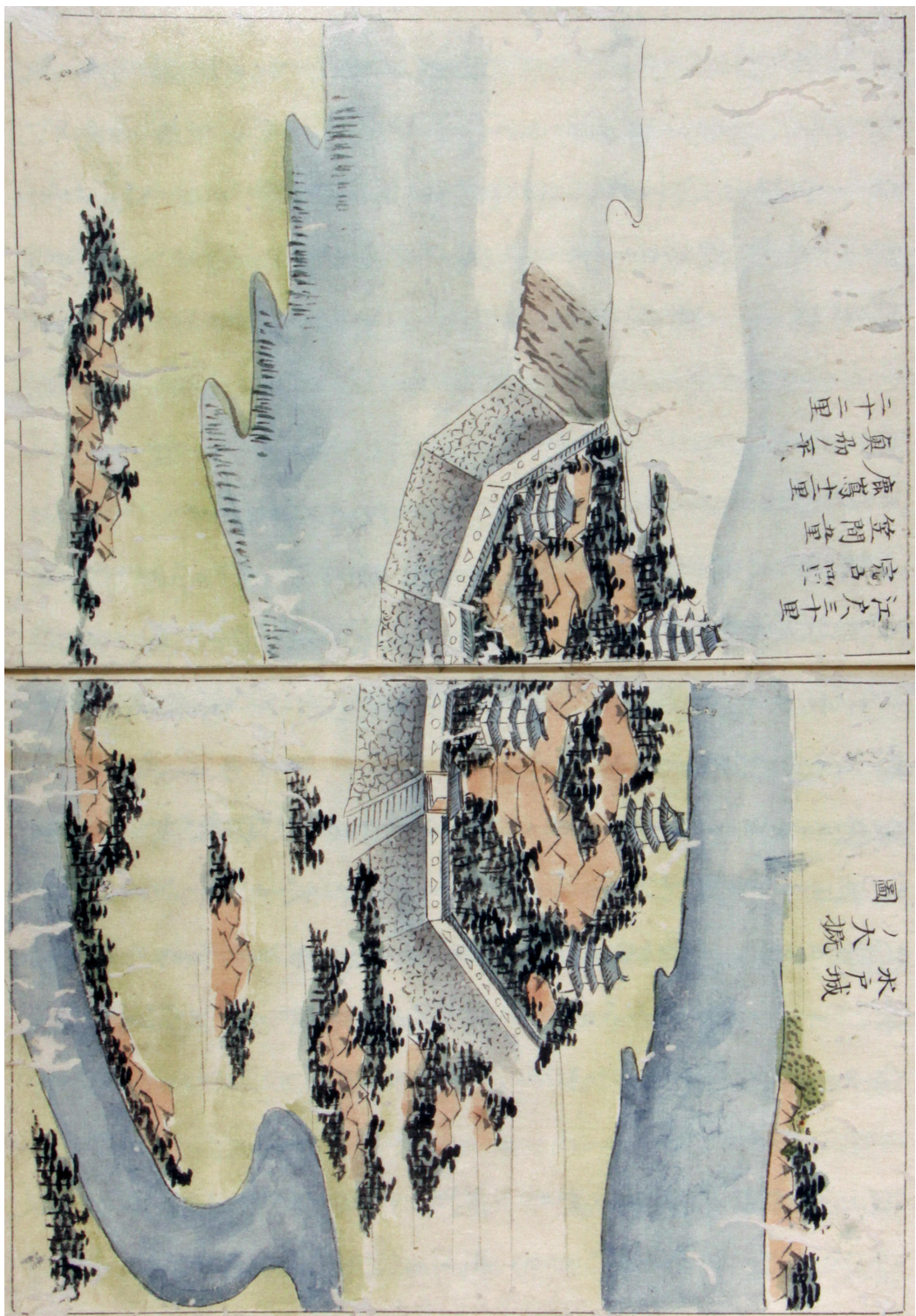
〔挿図⑭〕「常州河内村玉簾の瀧の図」



〔挿図⑮〕

右「水戸城ノ大概図」

左「江戸ノ三十里、空戸四里、笠間五里、鹿嶋十二里、奥州ノ平二十里」



〔挿図⑩〕

上段 「筑波山、西の方を遠見すれハ、かくのことく山の形見ゆるなり」

下段右 「北の方にて遠見すれハ、かくのことくに見ゆる也」

下段中 「此山と山との間二里あり」

下段左 「麓より峯に登る処、曲道二里」

